

月刊 きょうと教育通信

Vol. 28 平成17年5月号 発行:京都市教育委員会総務課(222-3768)

京都市教育委員会のHPは<http://www.edu.city.kyoto.jp/>でご覧いただけます。広報資料は毎日更新しています。

京の科学センターが全国一の評価！ 自律二足歩行ロボットASIMO(アンモ)を 「科学センター学習」で活用開始!!

4月19日、「自律二足歩行ロボットASIMO」を、全国でも初めて活用する理科授業を青少年科学センターで開始しました。

センターでは、「理科好きな子ども」が育つ環境づくりを目標に、小・中・高校・総合養護学校等の約4万人の児童生徒に、理科授業の一貫として「科学センター学習」を展開しています。

こうした他都市に例を見ない全市規模の取組が全国一と高く評価され、日本科学未来館、本田技研と共同で、全国初の試みとして、1年間、小学6年生と中学1年生を対象として、ASIMOを活用した物理領域の実験室学習が実施されることとなりました。

初日の授業を受けたのは、近衛中1年生26人。生徒たちは、センター職員の手作り教材である木製人形「BOKUMO」などを使って、片足立ちや坂道でのバランスの取り方などを学んだ後、ASIMOが同じ条件で、どのように重心を移動させているかなどを検証しながら、最先端技術に勝る人間の動作の素晴らしさを実感していました。

この学習では、人間が無意識に行っている「歩行」に焦点を当て、「重心」、「バランス」といった日常的概念を、最先端技術に触れることを通して科学的に捉え、体験を通して科学的な物の見方・考え方を育てていきます。



ご意見・お問合せ＝青少年科学センター(642-1601)

「ものづくり都市・京都」の将来を担う若者を育成 工業高校改革 基本方針まとめる

洛陽工・伏見工は現在も日本のトップ水準の工業高校ですが、産業・就業構造が急激化する中、10年、20年先を見据えた新しい工業教育の創造を目的として、本年3月、「工業高校改革・基本方針」がまとめられました。

全日制は、洛陽・伏見の学科を全面改編し、特色を生かした専門コースを設け、確かな技術と幅広い応用力、いかなる変化に直面しても次代を切り拓くことのできるたくましさ豊かな人間性を兼ね備えた若者を育成するための新学科を両校に設置。両校定時制は、発展的に統合・再編し、新たに伏見に昼間定時制を設置します(夜間は若干名で当面存続)。いずれも平成19年度からの実施を予定しています。

洛陽工・伏見工両校は、3年連続で学校幹旋による就職内定率が100%を達成。市立高校全9校でも100%を達成しました。

ご意見・お問合せ＝工業高校改革推進室(222-3811)

《4月の主なできごと》

- 13日 桃陽総合養護学校の分教室を府立医大病院に開設。児童生徒6名が入学。
- 19日 「科学系博物館等施設連絡協議会」発足。理科離れを防ぎ、理科好きな子どもを育成する環境づくりに向け科学系博物館が連携。
- 23日 「子ども読書の日」記念事業。(～29日)地下鉄駅前・市図書館等で様々な催しを開催し子どもの読書活動を全市規模で推進。また、川岡小・中央図書館が読書活動の実践が評価され文部科学大臣表彰を受けた。
- 23日 市PTA連絡協議会が憲法月間啓発パレード。250名が市役所前から円山公園まで、市民に人権の大切さをアピール。
- 25日 岩倉・東山図書館で夜間開館導入。月・木曜日の開館時間を午後7時まで延長。
- 25日 桃陽総合養護学校の分教室を京都第二赤十字病院に開設。児童2名が入学。
- 29日 第47回中学校春季総合体育大会開会式。全国唯一、全校生徒が堂々の入場行進。

新年度スタート

校長・園長研修会を 緊張感と熱気のもとに開催

今こそ公教育の使命と役割の自覚を！

京北町との合併により新たに4校が加わり、4月12日、校長・園長、教委幹部約800人の参加の下、本年度の本市教育の重点方針を確認し、更なる前進を誓う伝統の校長・園長研修会を開催しました。

研修会では、田中田鶴子教育委員長の本市教育改革が輝かしく前進し、全国から高く評価されていることへの感謝の挨拶に続き、門川大作教育長が、「学力の二極化が全国的な教育課題となっている。公教育・公立学校の使命は、全ての子どもたちの能力を最大限に伸ばすこと。そのことを今一度自覚し、本市教育の原点である『一人一人の子どもを徹底的に大切にする教育』に共に邁進したい。」と決意を述べました。

その後、高桑三男教育次長、生田義久教育企画監が、本市教育の一層の発展に向けた所信を述べ、引き続き、「指導の重点」「生涯学習の方向と施策の展開」「教育予算の概要」を各部長が



説明。参加者全員が本市教育の新たな展望を切り拓く決意を新たにし、熱気溢れる場となりました。

門川大作教育長の所信(要旨)

- (1) 学力・道徳的実践力の育成から学校安全も含め、常に使命感、危機感、問題意識をもち、スピード感ある学校経営を！課題に真正面から取り組み、一歩も二歩も踏み込んだ指導を！
- (2) 「開かれた学校づくりと市民参画」が学校改革の根源。家庭・PTA・地域との連携のもと、「学校参観」から「学校参画」への取組を！
- (3) 校長裁量権を拡大し、学校分権が進む中、失敗を恐れず自信をもって、特色ある学校づくりを！

ご意見・お問合せ＝総務課（222-3768）

京北町との合併に伴い 京都市立学校4校が誕生！



子どもたちとともに喜び合った合併記念式典（京北第二小学校）

京北町と京都市との合併に伴い、京北第一小、京北第二小、京北第三小、周山中の4校が京都市立学校として開校。去る4月8日に小学校3校で、11日に周山中で、それぞれ合併記念式典と入学式を行いました。

式典では、教育委員会から新校旗を手渡された児童・生徒代表が誓いの言葉を述べ、参加した保護者等から大きな拍手が送られました。

各校の式典には、本市教育委員長、教育委員もそれぞれ出席しました。式典後には、全4校と野外活動施設「京北山国の家」を訪問。歴史と伝統、豊かな自然に恵まれた素晴らしい教育環境に感動していました。

ご意見・お問合せ＝総務課（222-3767）

学校歴史博物館に 「館長談話室」を開設

学校歴史博物館では、上村淳之館長の発案により、市民が気軽に立ち寄って日本文化などを語り合える「館長談話室」を、17年4月から毎月第3火曜日に開設します。

4月19日には、第1回目として「はじめにイメージありき」をテーマに、約80名の聴講の方々との参加のもと、和やかな雰囲気の中で語らひの会を開催。今後、文化・芸術論や花や鳥、アトリエ周辺の出来事等をテーマに談話室を開きます。



上村館長と参加者との対話で
進んだ第1回の談話室

- ・ 定員 70名(先着順)
- ・ 参加費 無料
- ・ 申込 前月の26日(休館日の場合はその翌日)から電話で受付

ご意見・お問合せ＝学校歴史博物館（344-1305）